



電話とチャットでつながる「心の居場所」

# チャイルドライン<sup>®</sup> ほっかいどう

## 「チャイルドライン」に届いた子どもたちの声

※電話・オンラインチャット「つぶやく」に寄せられた声をプライバシーに配慮し再構成しています。

●SNSで知り合った人に自分の写真を送ってしまった。今すごく不安です。

●やっと部活ができるようになった。まだいろいろ注意されるけど、やっぱり楽しい。

●部長をしています。監督に呼び出されて体をさわられました。誰にも言えないし、毎日怖いです。消えたいです。叱られる。どこにも自分の居場所がない。

●自分の性に違和感がある。親にも言えてない。毎日気分が悪い。

●友だちが虐待されているらしい。心配だけど何をしてあげたらいいかわからない。

●戦争のことが不安で、「いずれ日本もウクライナのようになってしまうんじゃないか」と不安で仕方なくてかけました。

●障がいのあるお姉ちゃんがいる。お母さんがいつも遅いので、私にご飯を食べさせてあげる。いやがって食べないときは悲しくなる。

●親が虐待をしてきます。きょうだいのなかで自分だけ差別されています。いらぬ子なら産まなければよかったのに。毎日死にたいです。

●クラス替えがあって、友だちができるかすごく心配だった。みんなマスクをしているので、初めてあった人の表情がよくわからない。このまま友だちができなかったらどうしよう。

●コロナで休校になった後、始まって学校にいけなくなった。自分でもなぜかわからない。親から怠けていると叱られる。どこにも自分の居場所がない。

●友だちにライン送ったけど未読のままです。どうしたらいいのでしょうか。

【「2022チャイルドライン年次報告」より転載しました】

## 子どもたちの声に耳を傾ける

代表理事(支え手):田辺毅彦

チャイルドラインは発足当時から、子どもたちの声に耳を傾けることに目標を置いています。それでも、大人が子どもの声を聴くというのは意外にむずかしいことです。なぜならば、大人は子どもよりもはるかに長く生きてきて、人生経験も豊富なので、ついつい、かれらの話を中断して、言いよんでいる子どもの話を先回りしてまとめてしまったり、困っていることがあれば解決方法を提示してしまったりしまいがちなのです。それも、かれらのためにと善意で行うことが多いのです。

しかしながら、そうすることで、子どもたちは自分で考えたり、決断したりすることができなくなってしまいます。こちらの質問に答える、といったコミュニケーション形態になってしまうのです。悩みながら話をして、自分の感情や考えを言葉にすることで、子どもたちは自分なりの確認をしていきます。これは大人でも同様だと思えます。ですから、チャイルドラインは問題解決を目指すのではなく、子どもの気持ちを聞くことを心がけています。子どもの気持ちを聞きながら、かれらが話足りない部分は言葉が出てくるように支援しています。

最近の子どもたちは、電話よりもチャットを利用したアクセスが増えています。チャットの方がコミュニケーションの敷居が低く、スマホの普及により利用もしやすいようです。それでも、チャットの場合は、会話のように余計な話をする余地が少なく、言葉の使い方によっては、誤解や間違いも発生しやすいので、我々も言葉の使い方に細心の注意が必要になり、四苦八苦している日々なのです。

## 「ネットでんわ」の必要性と試行参加

常務理事・事務局長(支え手):水口良子

現在、チャイルドラインはフリーダイヤル、オンラインチャット(文字通話)、ホームページの「つぶやく」(話したいことを投稿し返信は望まない)で子どもの声を受け止めています。しかし子どもに関する通信手段の統計ではフリーダイヤルにつなげられない子どもが約180万人いることがわかりました。格安スマホ(格安SIM)、音声通話契約切れスマホ、子ども向け携帯からは発信できない場合があり、支援センターでは5年前より「ネットでんわ」(インターネット回線を使った音声通話・匿名性は保持される)の準備に取り組んできました。

今回試行実施期間として2022年11月24日~30日の日程が計画されCLほっかいどうも2日間参加します。子どもは支援センターのホームページから専用アプリをダウンロードして発信、受け手は専用パソコンで受信します。初めての試行でトラブルも予想されるとのことですが、すべての子どもたちにチャイルドラインにつながる手段を提供できることは重要なことですし、子ども自身が使いやすいツールの選択ができるようになるのは大変望ましいことです。今後も試行を重ね、チャイルドラインの事業として「ネットでんわ」が定着することを期待しています。



# 「子どもの声に寄り添う思い」

## 「受け手・支え手が感じていること」

「どんな事かな?ゆっくりでいいよ。」

テストが終わって嬉しい気持ち、クラスの男の子から変なあだ名で呼ばれて腹が立つくやしい気持ち等々。

圧倒的にネガティブな事が多く、時には怒りをぶつけられる事も。でもきつと勇気を出して電話かけてきてくれたんだと思って、よくかけてきてくれた偉いねと心の中で思いつつ耳をすましています。正解はないし解決には程遠いけれど頑張ってきてくれた子どもの気持ちに精一杯向き合う。少しの時間だけどあなただけの時間。知らない大人が味方であるって素敵な事ですよ。(S)

はい!チャイラインです。

今日も椅子に座り、深い呼吸と共に自分をリセットする。

受話器のむこうから「うれしい事があってネ、聞いて欲しくて電話しました。」の声に私までうれしい気持ちになり、「いじわるされる私が悪いのかなあ?」と切実な声が聞こえると、自分がそうであった時の気持ちが蘇って苦しくなる。そして最後はどちらも「ありがとうございました!」と子どもたちは電話を切る。

聞くだけで良かったのだろうか?本当にありがとう!の言葉に応えられたのだろうか?と自問自答するが、そのほとんどが悩む事で終わる。

最近、胸さわぎするのが「男子の性教育」の現状です。学校教育の現場で過去、女子が性教育を受けている時間に、男子はサッカー等々で時を過ごしていたと聞く。今こそ男子の性教育が急がれる課題であろうと痛感します。

「誰ひとりも置きざりにしない」SDGsに求められる人材は、自分で考え行動する“自律心”は欠かせない!

そんな役割の“一滴”を担えたら!と思うこの頃である。

(マジヨ)

あなたが、誰かに話したいと思ったとき、チャイルドラインの電話を思い出してかけてくれる。そして、電話を掛けてよかったと思ってもらえるようにの思いで、いつも電話の前で待っています。

楽しかったことやうれしかったことでもいいし、つらかったことや苦しかったことでも、そしてどうしたらいいだろうと悩んでいることも、話したいことをなんでも聞こう、そして、そのことを二人で喜んだり、一緒に悩んだり、一緒に考えたりする中から、少しでも気持ちが楽になってくれたなら、こんなにうれしいことはありません。今は、チャット相談というツールも用意しています。ぜひ、あなたの思いを聞かせてください。(SS)

チャイルドラインの特徴は「傾聴」にあります。聴くこと、それは一見簡単そうですが、実はとっても難しいのです。

私たちは皆、子どもたちの力になってあげたいとの思いで活動を続けています。ですから、子どもの悲しい声を聴き、つらい状況を知ると、なんとか助けてあげたい、解決策を教えてあげたいとの思いがこみ上げてきます。

しかし、私たちが解決策を押し付けることはできません。チャイルドラインは、子どもの気持ちを聴き、その気持ちに寄り添いながら、子ども自身が主体的に考え、行動するためのお手伝いをするところです。

直接手を差し伸べることができず、もどかしさや歯がゆさを感じることもありますが、そのようなとき「話したら少し気分が楽になりました」の一言に私自身救われています。(IT)

# 広がる支援の輪

## 北海道日本ハムファイターズ・ファンフェスティバルで「チャイルドラインカード贈呈式」が行われました

道内の小学生と中学生に配布している「チャイルドラインカード」の贈呈式が、昨年11月30日の北海道日本ハムファイターズ・ファンフェスティバル2021の場で行われました。

贈呈されたカードは43万枚で、昨年10月から11月にかけて道内の各小中学校や義務教育学校などを通して小中学生に配布しました。

北海道日本ハムファイターズからは今年もカードの贈呈を受け、2014年から連続9年目となります。



小学生用カードを掲げる球団GMの稲葉篤紀さん（写真左）と、中学生用カードを掲げる児玉代表理事（現・顧問）（札幌ドームで）

## 北海道新聞社から高校生用カード作成で助成していただきました

道内の高校生に配布するチャイルドラインカードの作成費として、今年も北海道新聞社から20万円の助成をいただきました。カードは13万枚印刷し、道内約280の高校に配布しました。

北海道新聞社からの助成は2017年から続けられ、今年で6年連続となっています。



今年配布した高校生用カード

## 札幌トラストライオンズクラブからチャイルドラインほっかいどうの活動を紹介するDVDが贈呈されました

「チャイルドラインほっかいどうの活動を紹介しよう」と、札幌トラストライオンズクラブが制作したDVDが当会に贈呈されました。

DVDには、子どもたちが置かれている環境や、電話やチャットによる子どもたちの「心の居場所」として活動している内容など、5分40秒の映像にまとめられています。また、野瀬栄進さん作詞作曲の「チャイルドラインの歌」も収録されています。



札幌トラストライオンズクラブの贈呈式で柴山ひろこ前会長（写真右）から目録を受け取る児玉芳明代表理事（現・顧問）

## 電話室にエアコンを設置していただきました。

### ～京信興業(株)の京野信博社長から～

札幌トラストライオンズクラブの会員で京信興業(株)社長の京野信博さんが、扇風機だけで暑さをしのぎながら子どもの声に寄り添っている状況を知り、設置工事も含めエアコンを寄付してくださいました。



京野信博社長（写真左）と早崎悦子運営委員長。設置日には社長も含めた3人で工事をしてもらいました。

## 札幌ライオンズクラブから寄付金が贈られました。

札幌でのチャイルドライン開設以来、毎年支援をいただいている札幌ライオンズクラブの例会が2月3日に開かれ、チャイルドラインに寄付金10万円が手渡されました。

新型コロナウイルス感染が続く中での開催でしたが、出席した会員の皆さんからもたくさんの励ましの声もいただきました。

## 「チャイルドラインほっかいどう2021年度の受信状況」

一昨年来の新型コロナウイルス対策が求められている中で、政府などの要請に基づく感染予防策をとりながら、子どもの声を受けとめてきました。

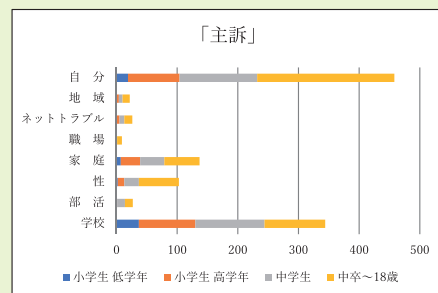
2021年度の電話開設日は延べ84日で、着信数3,504件のうち会話が成立したのは744件。オンラインチャットでは開設日が30日で、対応数602件のうち会話成立は400件でした。

年齢層では、電話は小学低学年が全体の8%、小学高学年が13%、中学生が26%、中卒～18歳が52%を占め、オンラインチャットでは小学低学年2%、小学高学年34%、中学生36%、中卒～18歳27%となっています。

話の内容として、「主訴」「動機」「気持ち」に分けたグラフを、電話とオンラインチャットを合計して表しました。

「主訴」では、「自分」「学校」「家庭」に関することが多く、「動機」は、「話を聞いてほしい」と「答えがほしい」の2項目で97%を占めています。また、「気持ち」では、「困惑・困っている」「不安」「つらい・苦しい」が多く、「困惑・困っている」は各年齢層とも多い傾向になっています。「不安」は小学高学年から多くなっています。

なお、電話とオンラインチャットの開設に従事したボランティアは延べ518人でした。

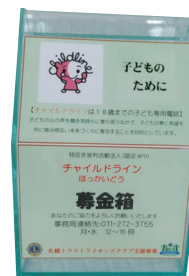


## イオン「幸せの黄色いレシート」

イオンが実施している「幸せの黄色いレシート」で、今年は5万4千円の支援をいただきました。

地域のボランティアを応援すると取り組みとして、毎月11日の「イオン・デー」にレジで発行した黄色いレシートを応援したい団体のボックスに投函することで、レシート合計額の1%分の商品が各団体に寄贈されます。

チャイルドラインほっかいどうのボックスはイオン札幌苗穂店に置かれ、今年は昨年より1万2千円も多いご支援をいただきました。



イオン札幌苗穂店に置かれているチャイルドラインのボックス



## 札幌南ロータリークラブから寄付金を頂戴しました。

チャイルドライン活動に深い理解を示されている札幌南ロータリークラブの例会が5月30日に開かれ、寄付金10万円の贈呈をいただきました。2017年以来毎年寄付金が贈られており、新型コロナウイルス感染拡大が収束を見せていない中でも活動を続けていることに、温かいご支援の言葉もかけていただきました。

# チャイルドラインほっかいどう おもな活動

### 第19期受け手養成研修を開催

19回目を数えた「受け手養成研修」の開講式が7月19日に開かれました。受講生は4人で、昨年に比べ減少しましたが「子どもの成長に役立つことをしたい」との思いで応募してくれました。研修は12月6日まで12回行われ、その後インターン研修に移る予定です。

### カードの全道配布事業

今年も、チャイルドラインカードを、教育委員会や各学校の協力を得ながら全道の小中高校に配布します。枚数は合計52万枚で、多くの団体・企業からの支援をいただき、11月から12月にかけて発送します。

特別支援学校は、年明けには発送する予定です。

### 保育・幼児系大学教員にチャイルドライン活動を紹介

子ども支援に理解がある道内の保育・幼児系大学(短大)22校に勤める教員346人に、チャイルドラインほっかいどうのリーフレットを送付しました。

チャイルドラインを支える会員の拡大に向けた活動の一環として行ったのですが、虐待やいじめなどで生きづらさを抱える子どもに、おとな同士がスクラムを組んで育てることが求められています。今後も、こうした活動を進めたいと考えています。

### 受け手・支え手認定式

7月12日に受け手と支え手の「認定式」が行われました。この日受け手に認定されたのは18期生の8人で「緊張もするが、研修で学んだことを実践に生かしたい」との抱負も述べられました。また、新たに支え手1人が認定されました。

### ニュースで取り上げてもらいました

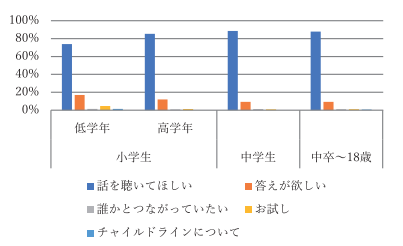
- ・2021年11月3日 北海道新聞「孤立防ぐ場所が欲しい」(電話スタッフの紹介)
- ・2022年3月 財界さっぽろ3月号
- ・2022年5月5日 札幌村ラジオに出演「チャイルドライン活動の紹介」
- ・2022年6月18日 北海道新聞「19期受け手養成研修の実施」
- ・7月7日、14日 三角山放送局「地域で見つける三角山SDGsトーク」
- ・7月15日 北海道新聞さっぽろ10区(トーク)
- ・9月5日 北海道文化放送(UHB)放映

### 2022年度通常総会を開催／

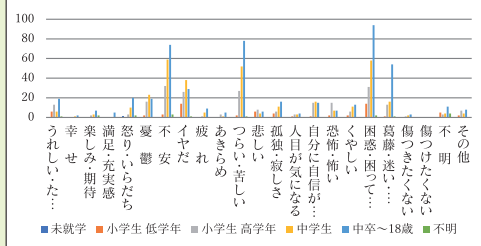
### 新たに川口谷正さんを代表理事に選出

5月27日に2022年度の通常総会を開催し、今年度の事業計画や予算など決めたほか、2年任期の理事と監事13人を選出しました。6年間代表理事を務めてきた児玉芳明さんは今年で退任。その後開いた理事会で、顧問に就任しました。また、新たな代表理事には川口谷正さんを選出し、留任した田辺毅彦代表理事と2人体制で活動を進めることとしました。

「動機」



「気持ち」



### 《チャイルドラインの開設時間》

チャイルドラインは全国68の実施団体が連携し、電話(フリーダイヤル)は毎日の午後4時から午後9時まで、オンラインチャットは木曜と金曜、第3土曜(1月からは毎週に)、第1水曜(現在は第3水曜も)に開設しています。このうちチャイルドラインほっかいどうは、電話が平日の月曜と水曜、第2日曜、オンラインチャットは第1・第4木曜と第3金曜を受け持っています。

私たちは「チャイルドラインほっかいどう」を応援しています



ライオンズクラブ国際協会 331-A地区 第3R 第1Z

## 札幌トラストライオンズクラブ

2022-2023 会長スローガン

思いやりの心で、成長・発展

会長 L 山内 一志 幹事 L 深谷 陽次郎 会計 L 池田 謙一

札幌トラストライオンズクラブはこんな社会奉仕活動を行っています！

- 「チャイルドラインほっかいどう」助成、支援
- 「アネモスの丘」収穫野菜による支援
- 「盲導犬協会」募金の協力
- 「四季彩の杜」植樹活動
- 「献血活動」実施協力

事務局/〒060-0063 札幌市中央区南3条西3丁目15 アルファ南3条ビル4F

TEL(011)211-6156 ・ FAX(011)211-6157

E-mail: s-trust@muse.ocn.ne.jp.

事務局運営日/月曜・水曜・金曜(13時~18時)

トラストライオンズ



ホームページ



フェイスブック

建築設備 設計・施工  
**株式会社 ふじ研究所**

代表取締役 弘田 安

TEL 011-742-5828

札幌市東区北28条東6丁目1番1号

グリーン投資時代に持続可能な  
社会環境作りに寄与する企業

EXCEL TECHNOLOGY



TRUST & GRATITUDE

**FINE TECH CORP**

**(株)ファインテック**

〒004-0834

札幌市清田区真栄4条2丁目12番25号

TEL.011-886-0503 FAX.011-885-0503

e-mail: finetechooo@jcom.zaq.ne.jp

**日章冷熱株式会社**

顧問 脇 章朗

TEL 011-742-7273

<http://www.nis-syo.co.jp>

札幌市東区北19条東2丁目1番21号

**有限会社 阿部組**

代表取締役 阿部 忠

TEL 011-374-1061

札幌市東区中沼町162番地592の1

私たちは「チャイルドラインほっかいどう」を応援しています

—造園・設計・施行・維持管理—

## 緑化デザイン株式会社

代表取締役 小林 勝美

TEL 011-741-5076

URL:www.ryokuka-design.com

札幌市東区苗穂町4丁目1番8号

創業明治三十四年 百二十年の伝統と匠の技  
石碑のことなら何でもご相談ください。

## 株式会社 小林石材

〒004-0812 札幌市清田区美しが丘2条10丁目2番2号

TEL:011-881-0172 FAX:011-883-5611

厚生労働大臣認定

1級石材施工 加工・1級石材施工 石張り・1級石材施工 石積み 技能士

## 野上技研工業株式会社

代表取締役 野上 浩司

〒007-0834 札幌市東区北34条東15丁目1-22

TEL:011-742-0341

照明設計・電気工事 メンテナンスまで  
電気のことなら「はなもり」へ

## 株式会社 花森

札幌市東区北47条東16丁目1-35

Tel:011-789-8007

## 泰伸データウェアハウス株式会社

〒063-0861

札幌市西区八軒1条東4丁目1-11泰伸ビル

Tel:011-631-3501 Fax:011-642-3651

一緒に一所懸命

## 生活介護事業所 アバンギャルド

札幌市北区北35条西3丁目2-22

Tel:011-769-9709 Fax:011-769-9710

E-mail avantgarde@ecnt.net

日本舞踊家 藤間流師範の藤間蘭翔を  
応援しています

## 藤間蘭翔 北海道後援会

事務局長 太田 陽子

<http://www.ranshou.jp/>

質の高い法務サービスを提供し  
真の問題解決をめざします

## 弁護士法人 PLAZA総合法律事務所

共同代表弁護士 太田勝久

共同代表弁護士 小幡朋弘

<http://www.oota-law.com/>

札幌事務所: TEL:011-222-3251 東京事務所: TEL:03-6869-0028

商業施設・まちづくりの計画全般 テナント仲介  
絆づくりが私たちの使命です

## 株式会社

## エム・アールコーポレーション

代表取締役 光永 彰

<https://www.facebook.com/mrc2007/>

想いをカタチに  
店舗設計・企画・施工・管理

## 株式会社 エスカンパニー

代表取締役 島崎 等

## 花治療院

札幌市豊平区平岸6条16丁目

スポーツフィールドキャロット内2階

## スポーツフィールド キャロット

札幌市豊平区平岸6条16丁目2-65 (テニス・フットサル)

<https://www.web-carrot.com>

## ■ 会 員 募 集

チャイルドラインは民間のボランティア団体です。チャイルドラインほっかいどうの活動にご賛同いただけましたら、ぜひ会員としてご支援ください。寄付もお待ちしています。

### 【チャイルドラインほっかいどう年会費】

- 正会員 1口 1,000円 (3口以上)
- 一般会員 1口 5,000円
- 一般会員 (団体) 1口 10,000円
- サポート会員 1口 1,000円

### 【郵便振替】

(口座番号) 02750-1-74500

(加入者名) チャイルドラインほっかいどう

## ■あなたも「受け手」になりませんか

チャイルドラインにかかってくる電話を受けるのは、ボランティアの「受け手」です。チャイルドラインほっかいどうは、受け手になるための「受け手養成研修」を毎年開催しています。研修生の募集期間は毎年4月から6月中旬です。募集要領などは、当会のホームページに掲載しています。

また、カードやポスターなどの配布や広報誌の編集、イベント時の広報活動に参加できるスタッフも募集しています。

## ◆チャイルドラインほっかいどうは寄付金の税額控除が受けられる「認定NPO法人」です

「認定NPO法人」への寄付金は税の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。寄付金のほか正会員以外の会費も税控除が適用されます。

優遇措置を受けるためには、当会の領収書が必要です。寄付を郵便振替でされた場合は、指定の用紙（払込取扱票）に「お名前」「ご住所」「ご連絡先」をご記入してください。入金を確認した上で領収書を郵送します。

## ■助成・寄付をいただいた企業・団体

### 【助成金】

(2021年度)

- ・赤い羽根共同募金会（カード等全道配布事業）
- ・(株)北海道新聞社（カード等全道配布事業）
- ・公益財団法人北海道地域活動振興協会（継続研修）
- ・越智基金・市民活動支援基金（「北海道の子ども 状況報告」作成費）
- ・コロナ対策支援助成（厚生労働省・チャイルドライン支援センター）

(2022年度 ※11月末現在)

- ・コープさっぽろ社会福祉財団
- ・(株)北海道新聞社（カード等全道配布事業）
- ・公益財団法人北海道地域活動振興協会（広報誌の作成）
- ・越智基金・市民活動支援基金（受け手養成研修等）
- ・コロナ対策支援助成（厚生労働省・チャイルドライン支援センター）

### 【寄附金】

- ・(株)北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金（小学生用・中学生用カードの現物寄付）
- ・札幌南ロータリークラブ
- ・札幌ライオンズクラブ
- ・日本キリスト教会札幌北一条教会日曜学校
- ・札幌トラストライオンズクラブ（募金活動）
- ・泰伸データウェアハウス（株）
- ・(株)SDL・HD
- ・法務会計プラザパートナーズ
- ・(株)越山ビルディング
- ・北海道電力総連石狩地域連絡会
- ・PLAZA総合法律事務所
- ・(有)みつる
- ・(株)札幌ドーム
- ・キャリアバンク(株)
- ・連合北海道札幌地区連合
- ・太陽旅行(株)
- ・チャイルドマインディング合同会社
- ・(株)北洋銀行



※この広報誌は公益財団法人北海道地域活動振興協会からの助成金で作成しました。

認定 NPO 法人 チャイルドラインほっかいどう

〒060-8691 札幌中央郵便局私書箱 13 号

TEL&FAX : 011-272-3755 (電話での連絡は平日の月曜と水曜の正午から午後 4 時までをお願いします)

e-mail chairud@gray.plala.or.jp [http://cl-hokkaido.or.jp/otona\\_index.html](http://cl-hokkaido.or.jp/otona_index.html)

